

文教常任委員会資料

令和4年9月16日

(2022年)

教育委員会事務局学校教育課

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

標記の件について、次のとおり報告します。

## 令和4年度全国学力・学習状況調査（小学6年・中学3年）の結果について

### 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。
- (3) このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 概要

- (1) 調査実施日 令和4年4月19日（火）
- (2) 調査対象 国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒
- (3) 調査内容

#### ア 教科に関する調査

- ・国語、算数・数学・理科で実施
- ・国語、算数・数学・理科で実施

（知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等を一体的に問う問題）

#### イ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

### (4) 受検者数

- |       |               |                   |
|-------|---------------|-------------------|
| ア 小学校 | 実施学校 18,867 校 | 集計対象児童数 978,111 人 |
| イ 中学校 | 実施学校 9,762 校  | 集計対象生徒数 928,509 人 |

### 3 結果の活用

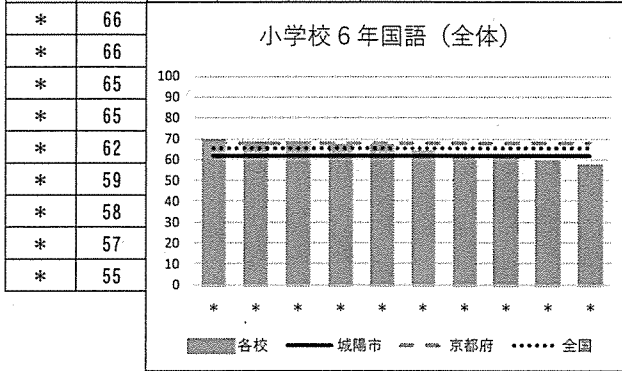
- (1) 各学校においては、調査結果を踏まえ、個々の児童生徒の全般的な学習状況の改善等に努めるとともに、教育指導等の改善に向けて計画的取り組んでいく。
- (2) 城陽市教育委員会においては、調査結果を踏まえ、学校における取組等に対して必要な支援等を行うなど、市内の教育及び教育施策の改善に向けた取組を推進する。

#### 4 小学6年（国語）の結果

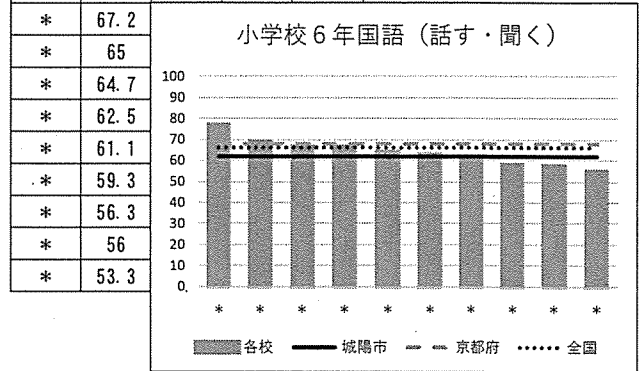
- ・城陽市の平均は、全国平均を下回る結果となりました。また、領域については、特に「話す・聞く」「知識・技能」「思考・判断・表現」について全国平均との差が見られました。
- ・国語科の授業では、互いの立場を尊重しながら意図を明確にして話し合い、自分の考えを広げたり、まとめたりすることができることや、問題解決を通して得た知識や考え方をその単元だけの理解や活用だけに留まらず、全ての学習活動において子どもたち一人一人が「言葉による見方・考え方」を働かせることができるように授業改善を図ることが求められます。

##### (1) 結果の状況

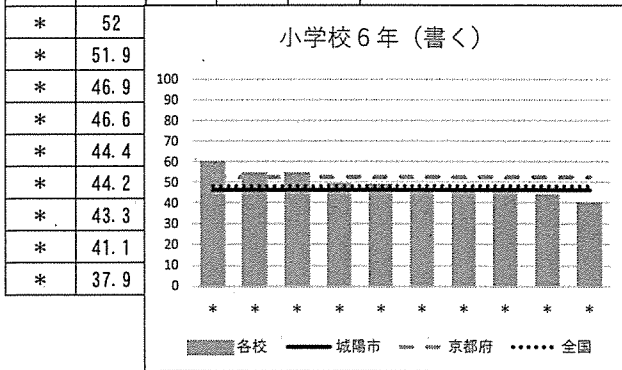
小学校6年国語（全体）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	67	62	68	65.6



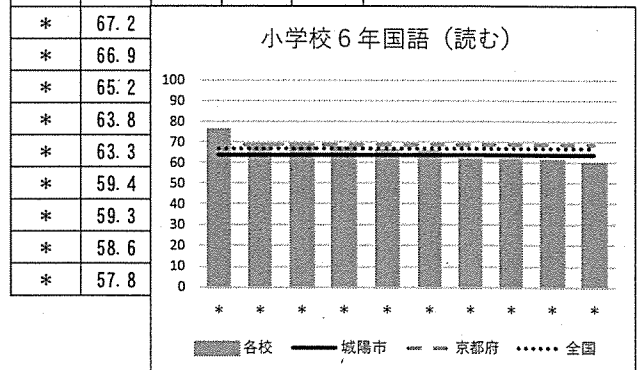
小学校6年国語（話す・聞く）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	75.5	62	68.2	66.2



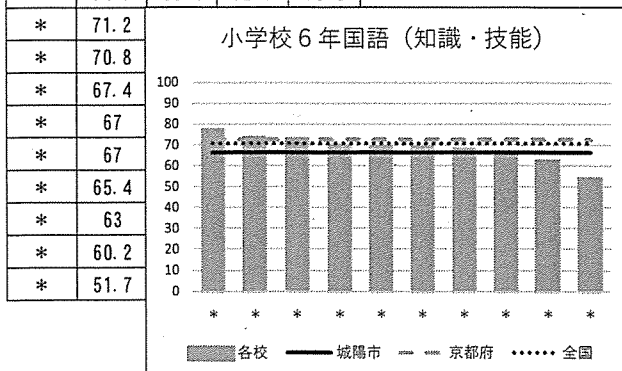
小学校6年国語（書く）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	57.5	46.1	52.4	48.5



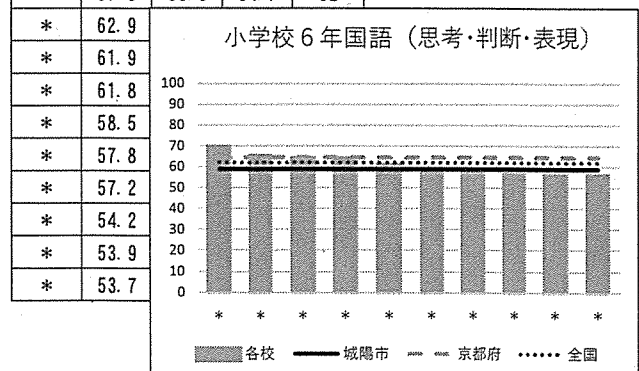
小学校6年国語（読む）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	74	63.7	69	66.6



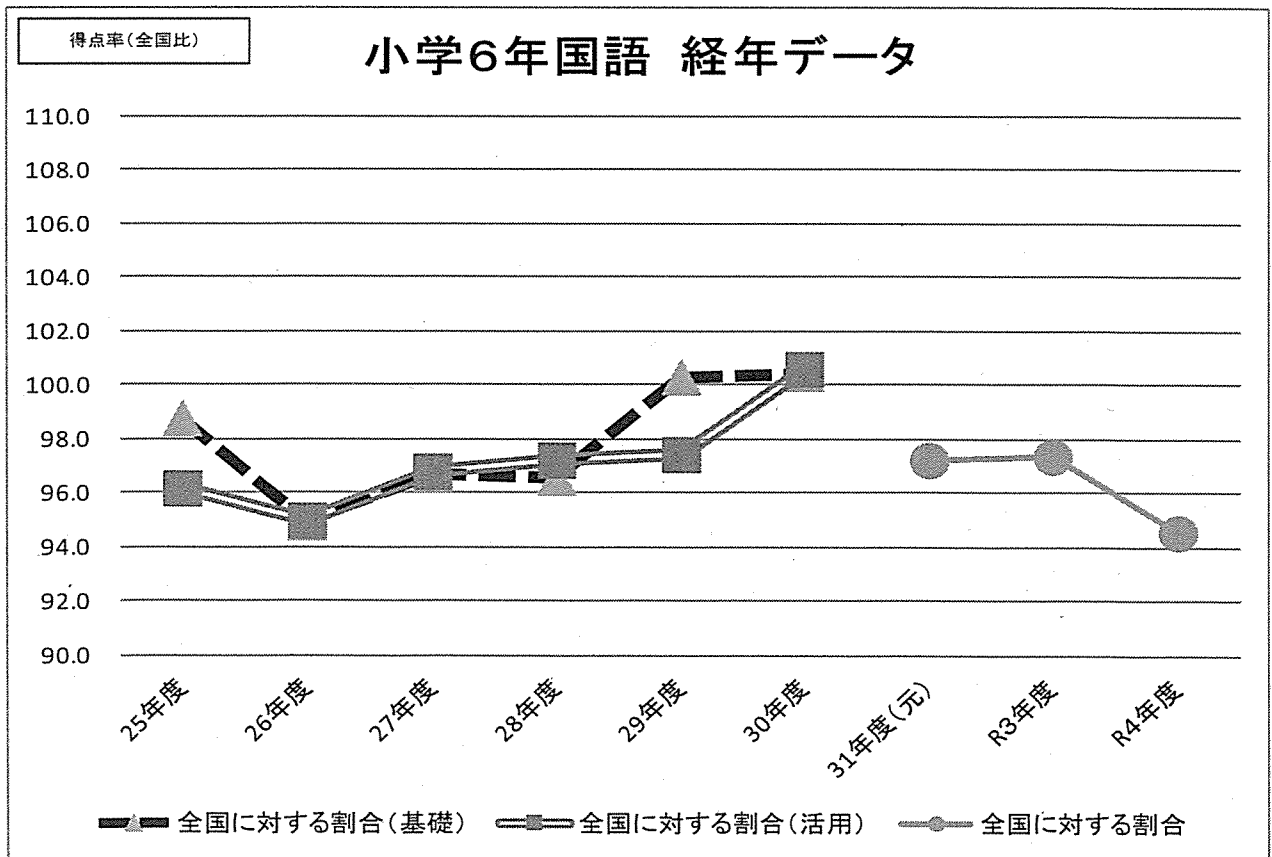
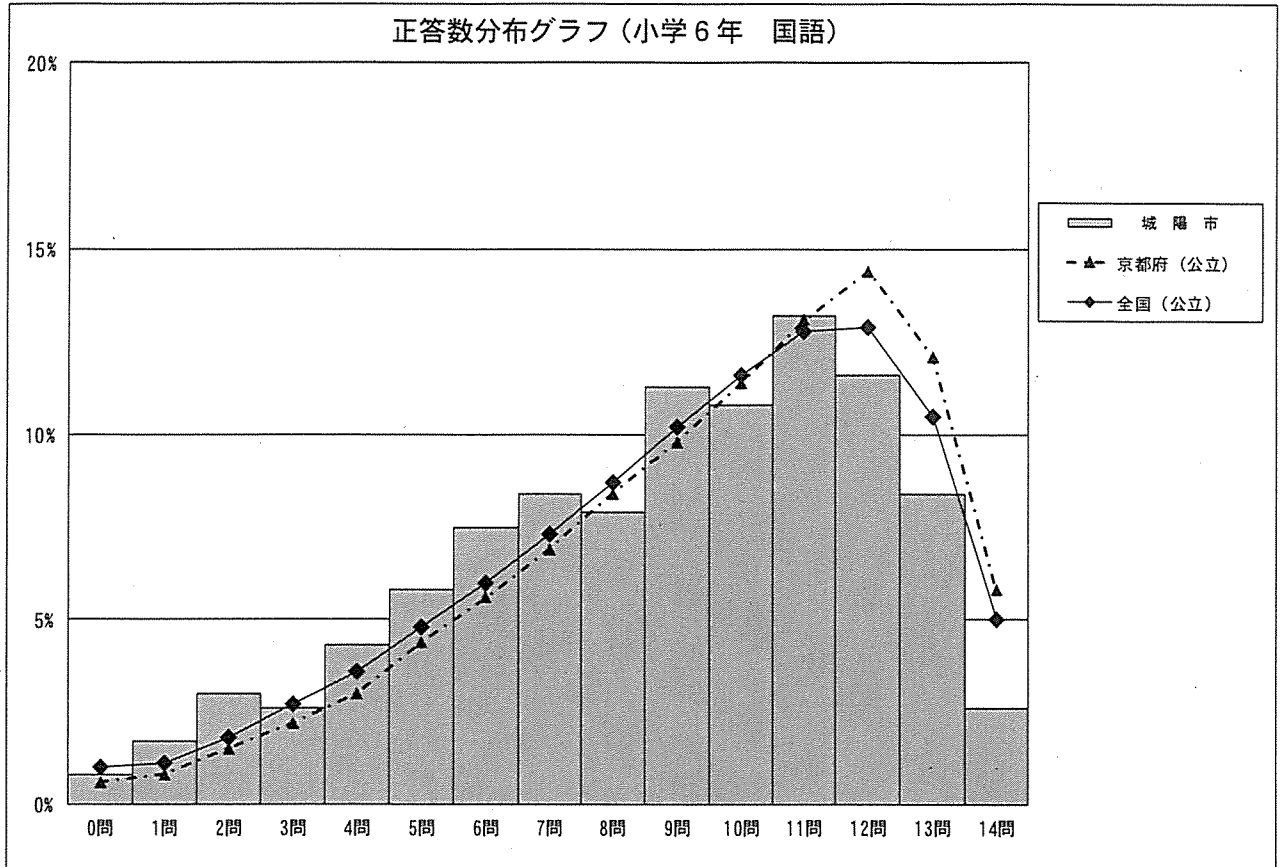
小学校6年国語（知識・技能）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	74.7	66.4	72.7	70.5



小学校6年国語（思考・判断・表現）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	67.6	58.9	64.7	62



(2) 正答数分布グラフ・経年データ・正答率別推移

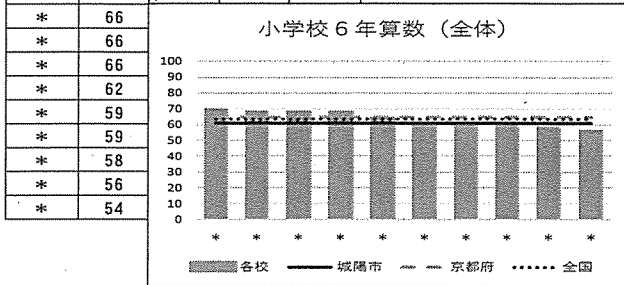


## 5 小学6年（算数）の結果

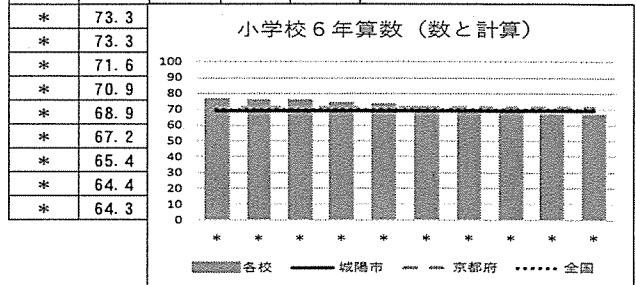
- ・城陽市の平均は、全国平均をやや下回る結果となりました。また、領域については、特に「図形」「変化と関係」について全国平均との差が見受けられました。
- ・日常の具体的な場面に対応させながら、目的に応じて、数量の関係について理解させたり、表やグラフを読み取り、データの特徴や傾向を捉え考察することや、図や式などを用いて考えを表現する中で、正誤だけに注目するのではなく、図式化や説明の記述などの思考過程を大切に、「振り返り」を充実させ、数学的な考え方を育成していくことが求められます。

### (1) 結果の状況

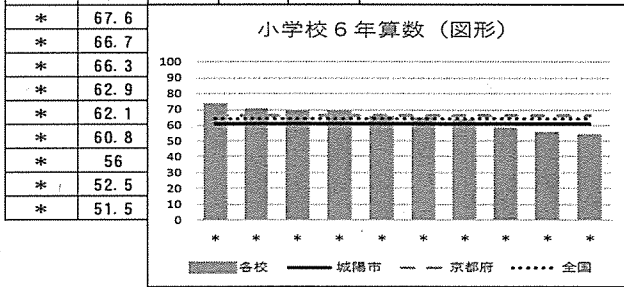
小学校6年算数（全体）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	67	61	65	63.2



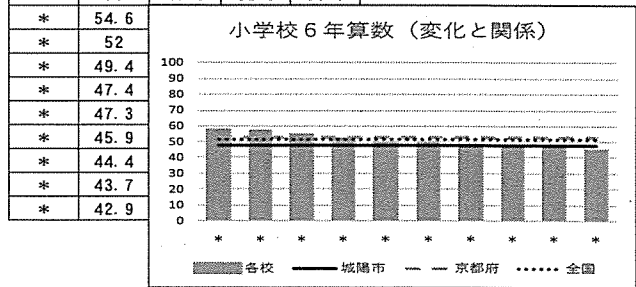
小学校6年算数（数と計算）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	74.1	69.3	71.1	69.8



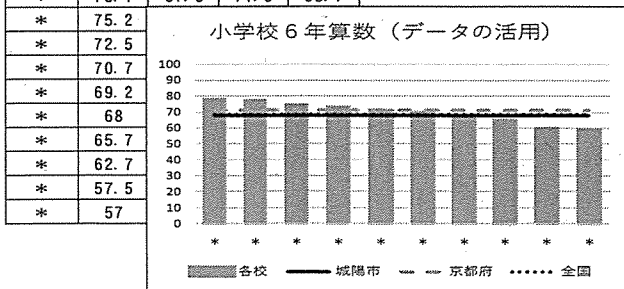
小学校6年算数（図形）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	71.3	61	65.9	64



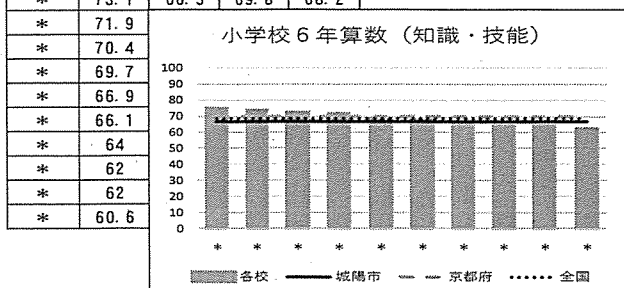
小学校6年算数（変化と関係）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	55	47.9	52.8	51.3



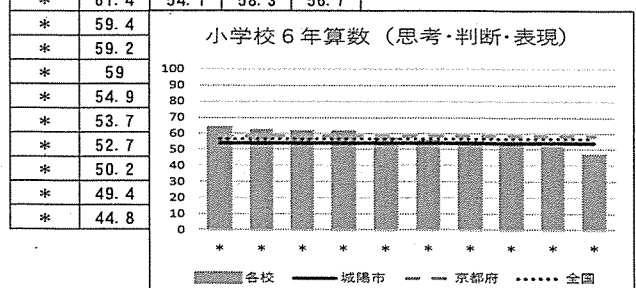
小学校6年算数（データの活用）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	76.1	67.9	71.3	68.7



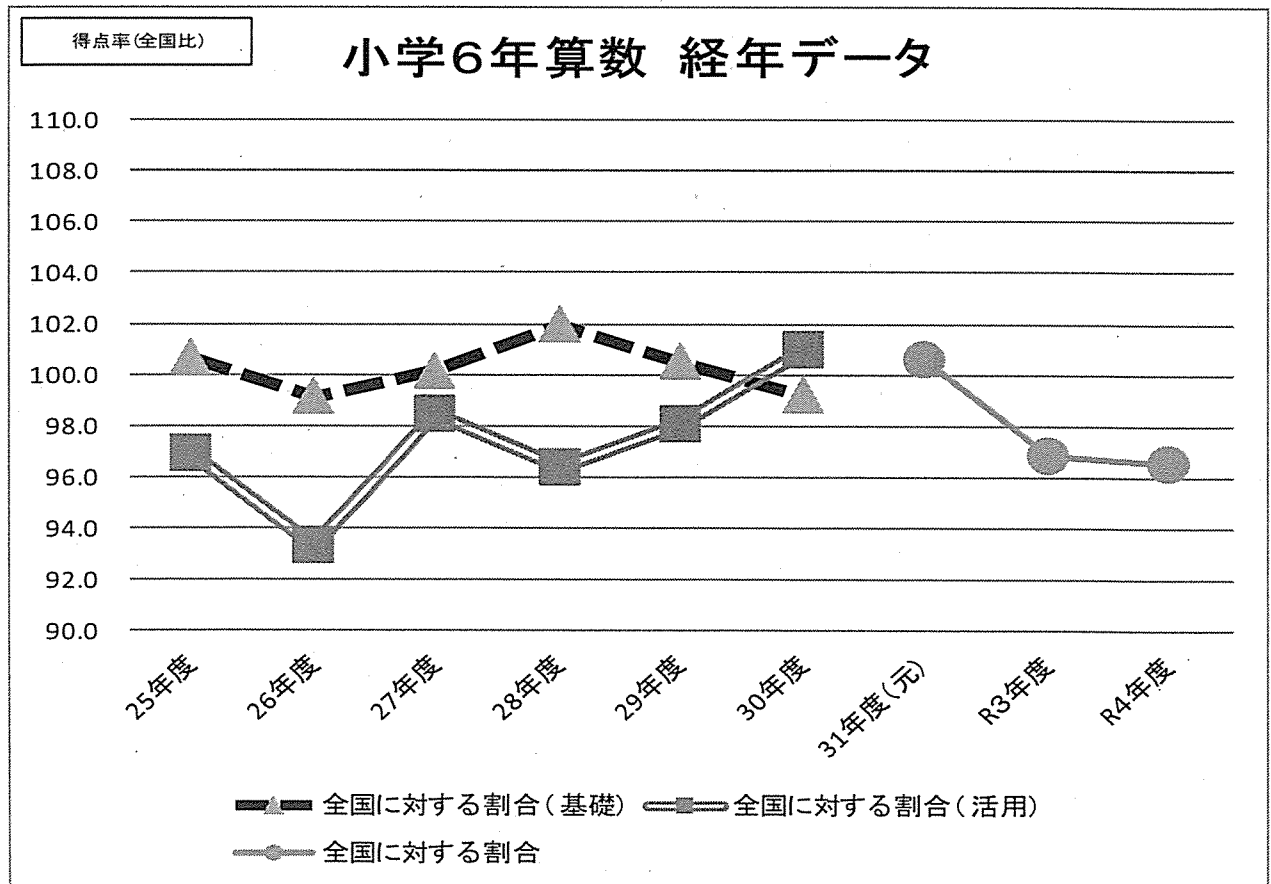
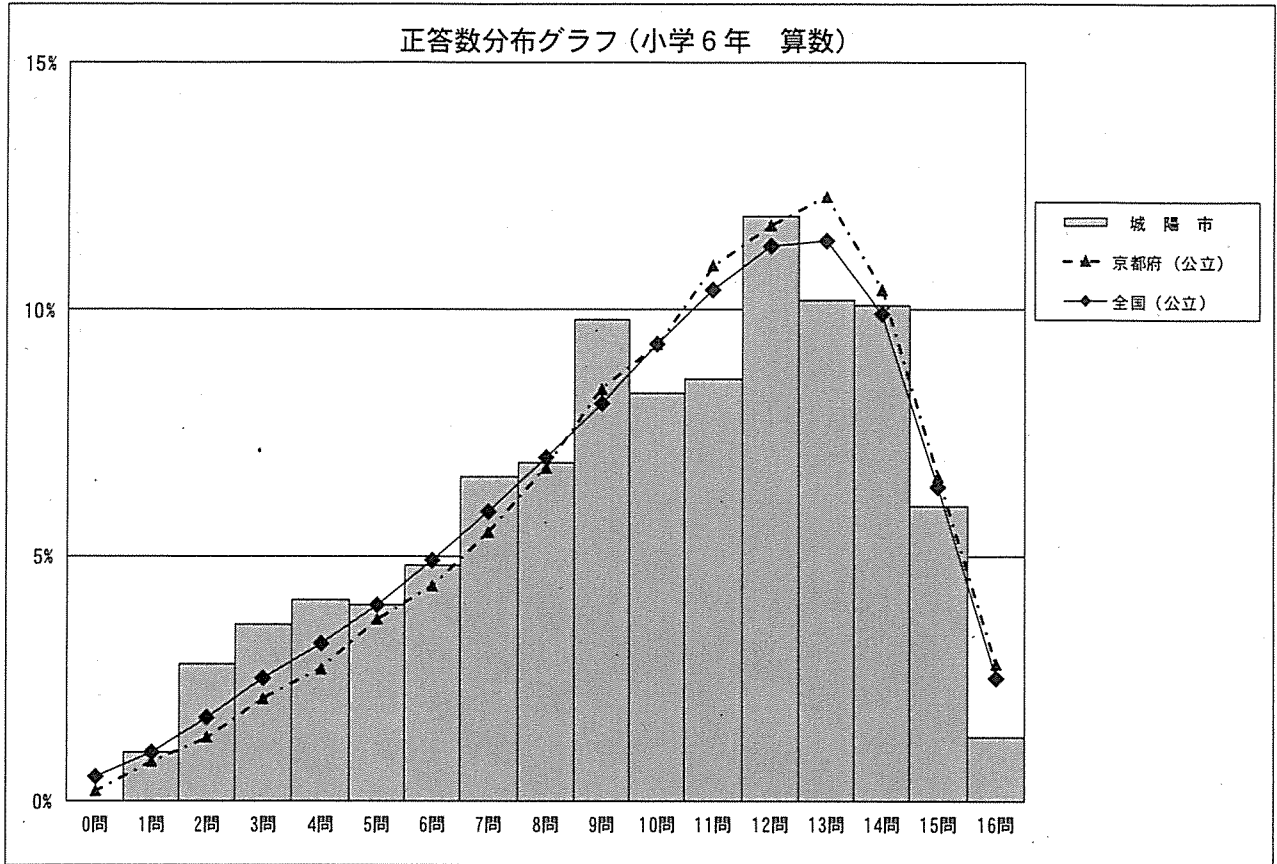
小学校6年算数（知識・技能）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	73.1	66.5	69.8	68.2



小学校6年算数（思考・判断・表現）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	61.4	54.1	58.3	56.7



(2) 正答数分布グラフ・経年データ・正答率別推移

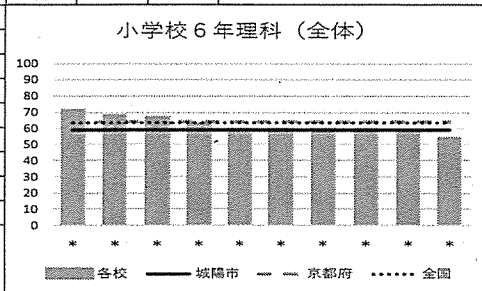


## 6 小学6年（理科）の結果

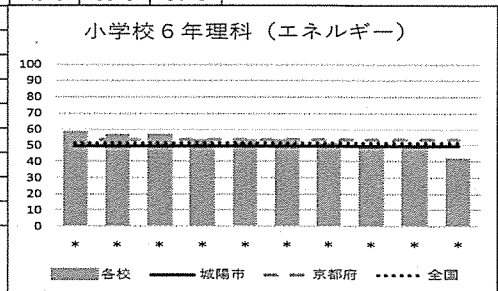
- ・城陽市の平均は、全国平均を下回る結果となりました。また、領域については、特に「粒子」「生命」「地球」「知識・技能」「思考・判断・表現力」について全国平均との差が見られました。
- ・問題を解決するために必要な観察の視点や実験方法等の道筋を構想するなど、自分の考えを持ち、自分で行った観察で収集した情報や実験等から、追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えを持ってまとめることができる力の育成が求められます。

### (1) 結果の状況

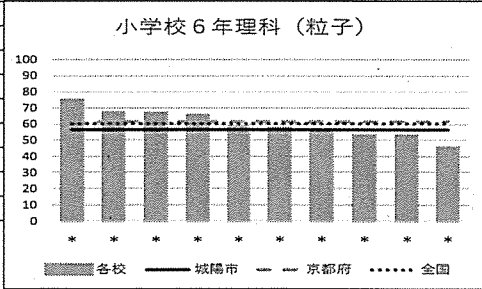
小学校6年理科（全体）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	69	59	64	63.3
*	66			
*	65			
*	61			
*	58			
*	58			
*	58			
*	58			
*	55			
*	52			



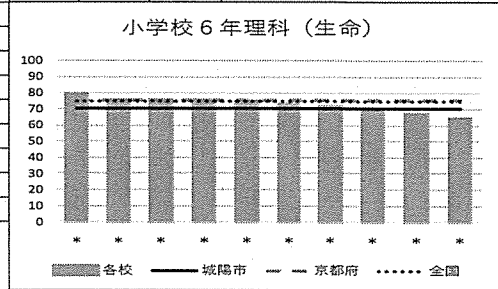
小学校6年理科（エネルギー）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	55.9	49.5	53.3	51.6
*	54.2			
*	54.1			
*	50.9			
*	50.7			
*	50.6			
*	49.3			
*	47.8			
*	46.1			
*	39.4			



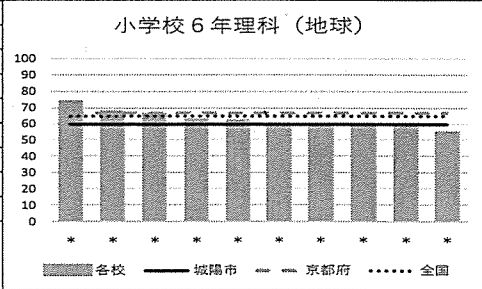
小学校6年理科（粒子）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	72.9	56.5	61.8	60.4
*	65.3			
*	64.9			
*	63.4			
*	56.3			
*	55.5			
*	53.8			
*	51.1			
*	51			
*	43.6			



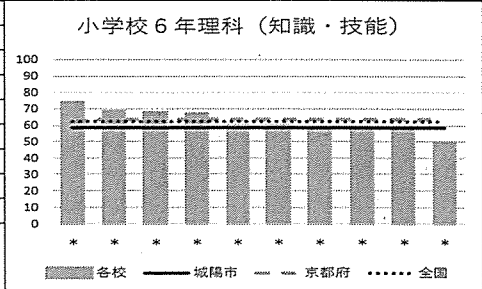
小学校6年理科（生命）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	77.1	70.3	75.6	75
*	73.8			
*	73.3			
*	73.3			
*	73			
*	71.1			
*	69.6			
*	67.8			
*	65.4			
*	62.2			



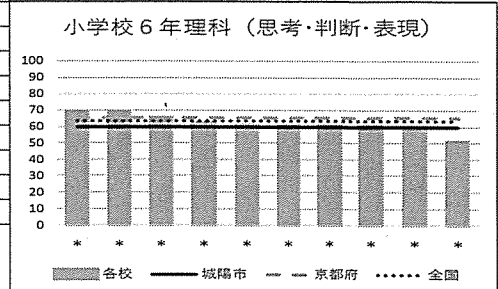
小学校6年理科（地球）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	71.8	60	66.6	64.6
*	65.3			
*	64			
*	60.3			
*	59.4			
*	57.9			
*	56.9			
*	56.5			
*	56.1			
*	52.9			



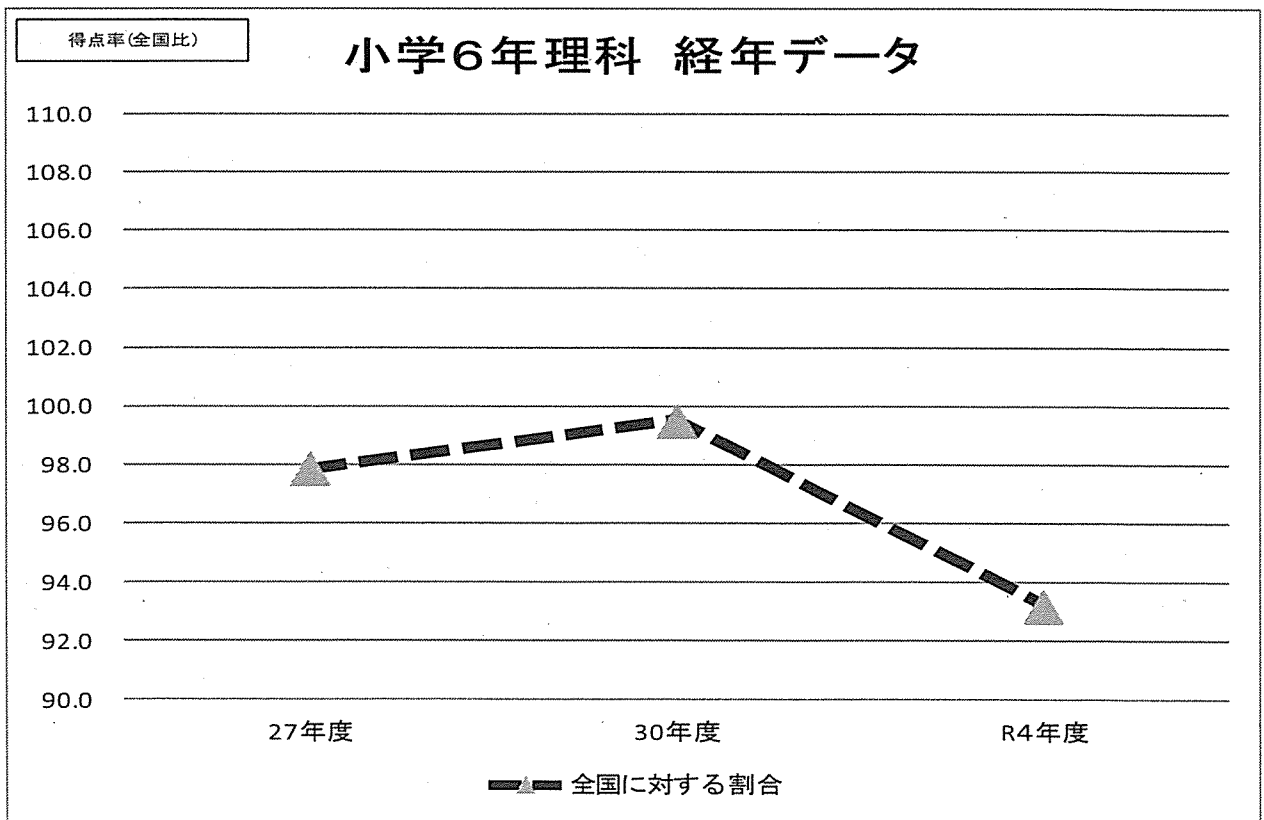
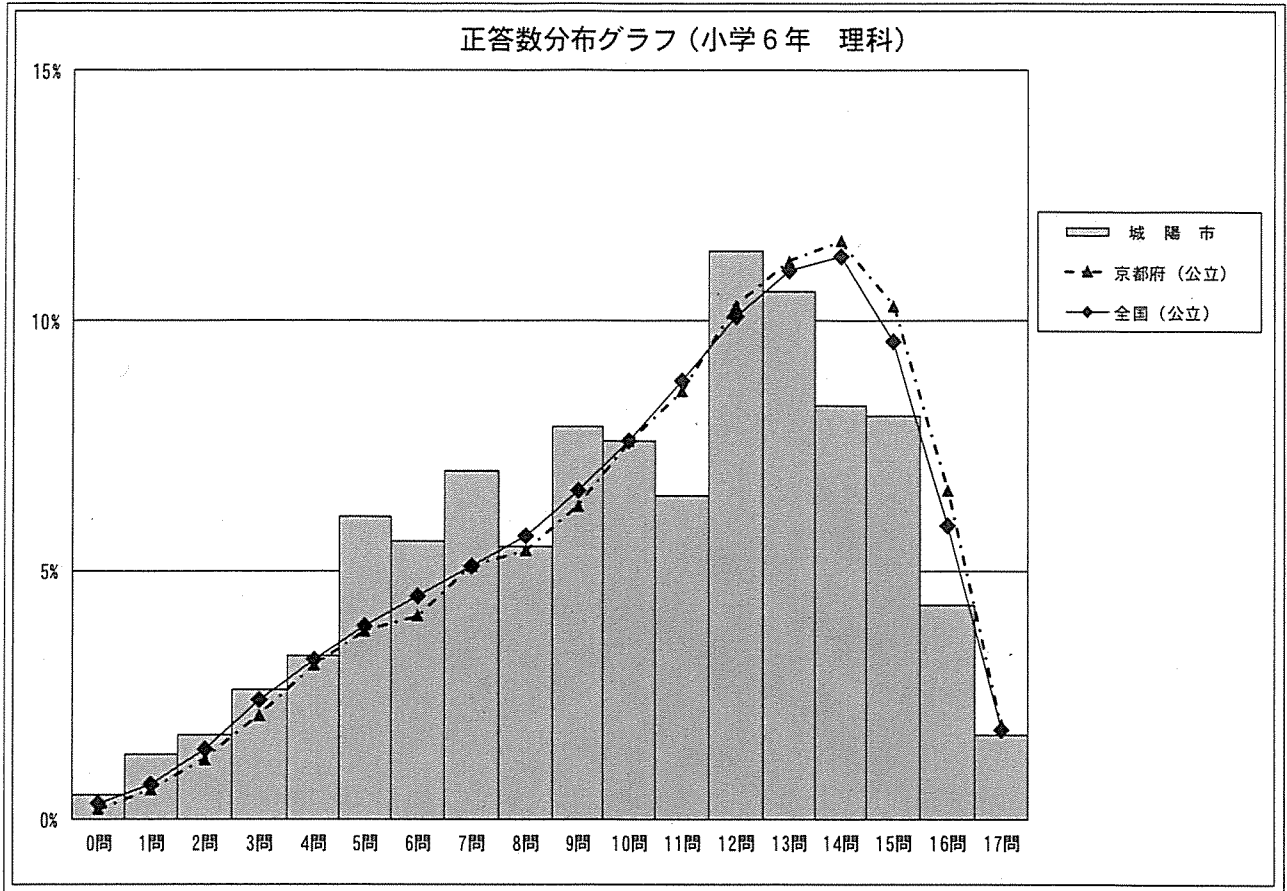
小学校6年理科（知識・技能）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	71.6	58.5	63.2	62.5
*	66.7			
*	66.1			
*	64.6			
*	57.6			
*	57.5			
*	56.7			
*	56.7			
*	54.4			
*	47.8			



小学校6年理科（思考・判断・表現）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	67.2	60	65.2	63.7
*	67			
*	63.6			
*	60.2			
*	59.3			
*	58.7			
*	58.3			
*	58.3			
*	57.7			
*	49.1			



(2) 正答数分布グラフ・経年データ・正答率別推移



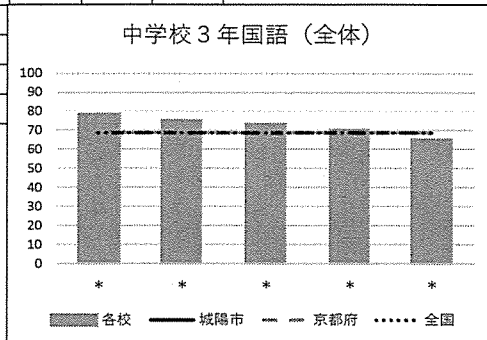


## 7 中学3年（国語）の結果

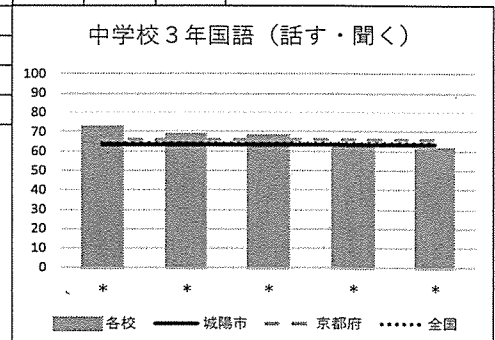
- ・城陽市の平均は、全国平均と同等の結果となっています。また、領域については、特に「知識・技能」について全国平均を上回っておりますが、「書く」については下回る結果となりました。
- ・正答率別推移では、平成29年度の小学4年、平成31年度（令和元年度）の小学6年で受検した京都府学力診断テストと比較すると、小学4年から小学6年にかけては、高位層がやや減少し、低位層が増加していましたが、小学6年から今年度の中学3年にかけては、高位層が増加し、低位層が減少しています。
- ・文章の内容や構造を理解して必要な情報を取り出すだけでなく、既存の知識や様々な経験と結びつけて、生徒一人一人の考えを広げることが求められます。

### (1) 結果の状況

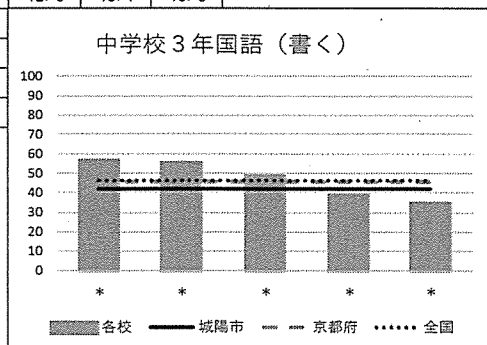
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	75	69	69	69
*	72			
*	70			
*	67			
*	62			



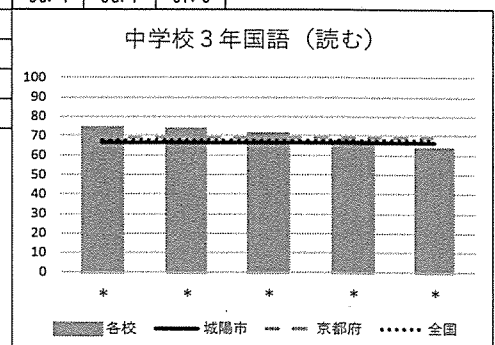
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	68.9	63.4	65.8	63.9
*	65.2			
*	64.9			
*	60.5			
*	57.9			



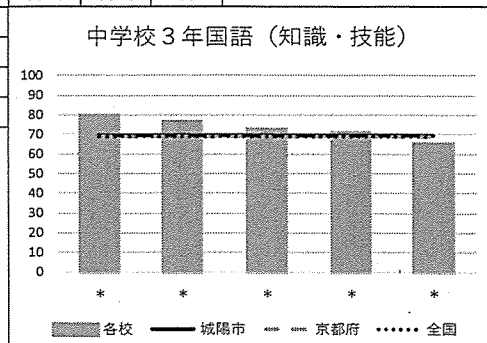
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	53.6	42.3	45.7	46.5
*	52.7			
*	45.5			
*	36			
*	31.7			



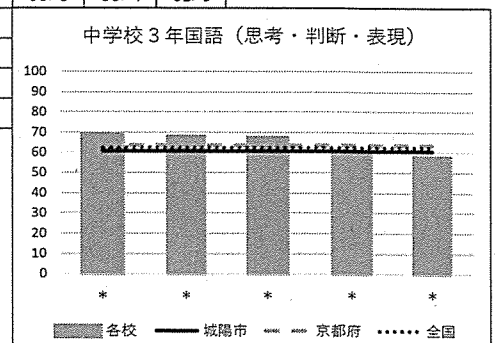
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	70.9	66.4	68.7	67.9
*	70.4			
*	67.9			
*	64			
*	60.3			



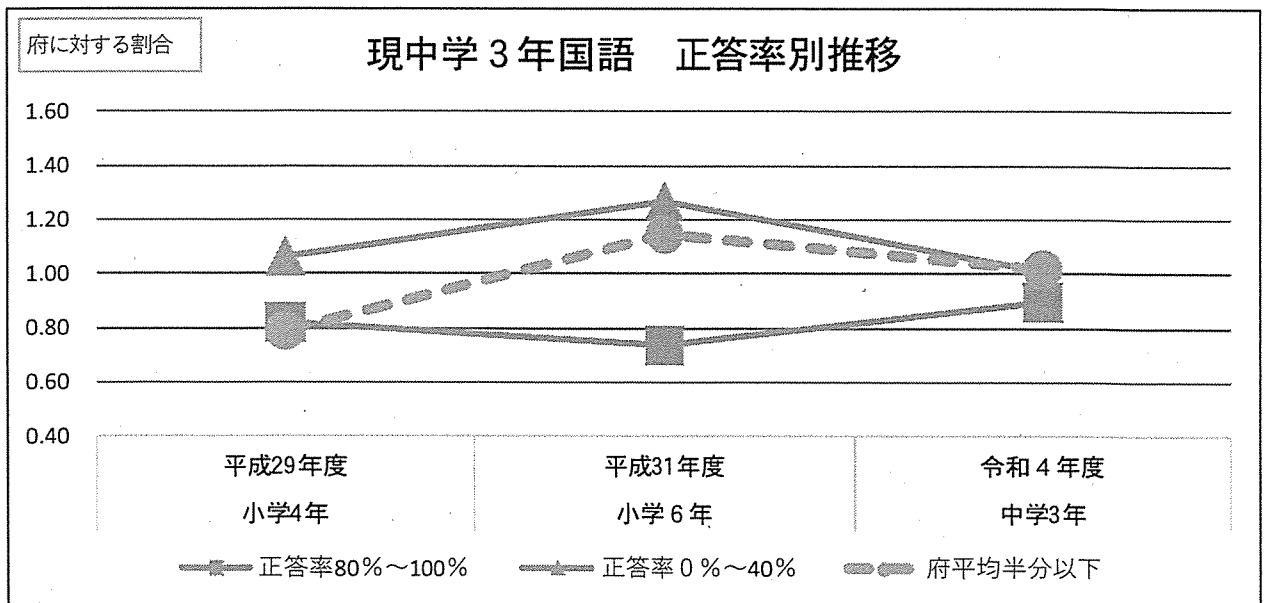
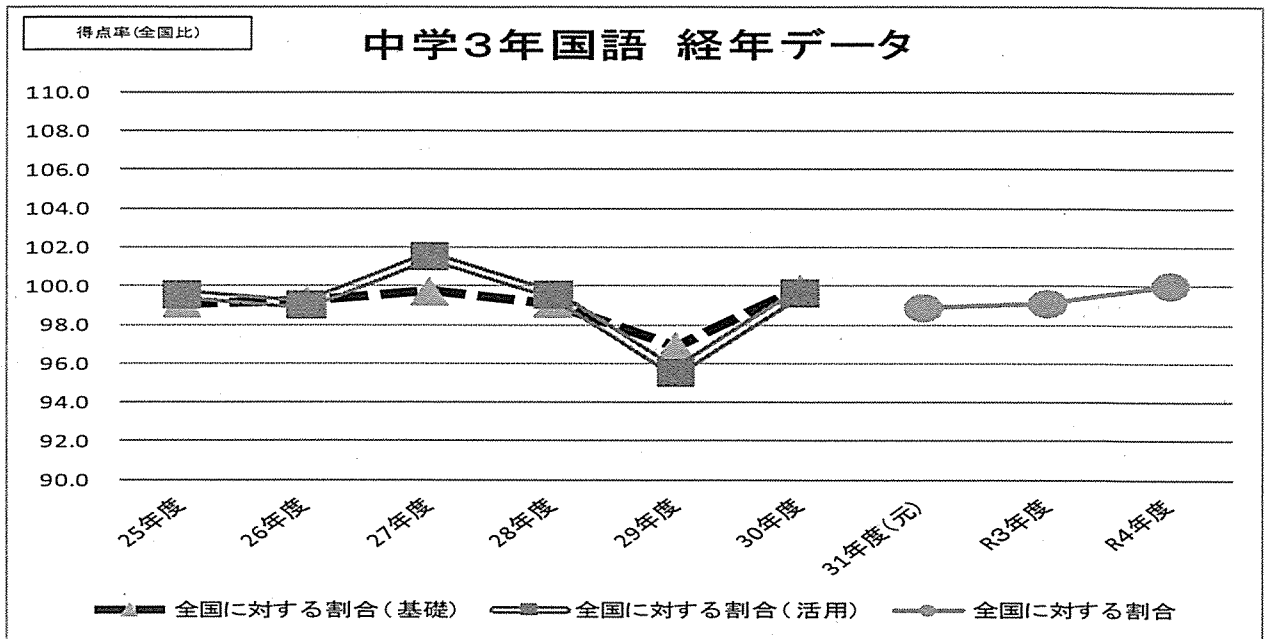
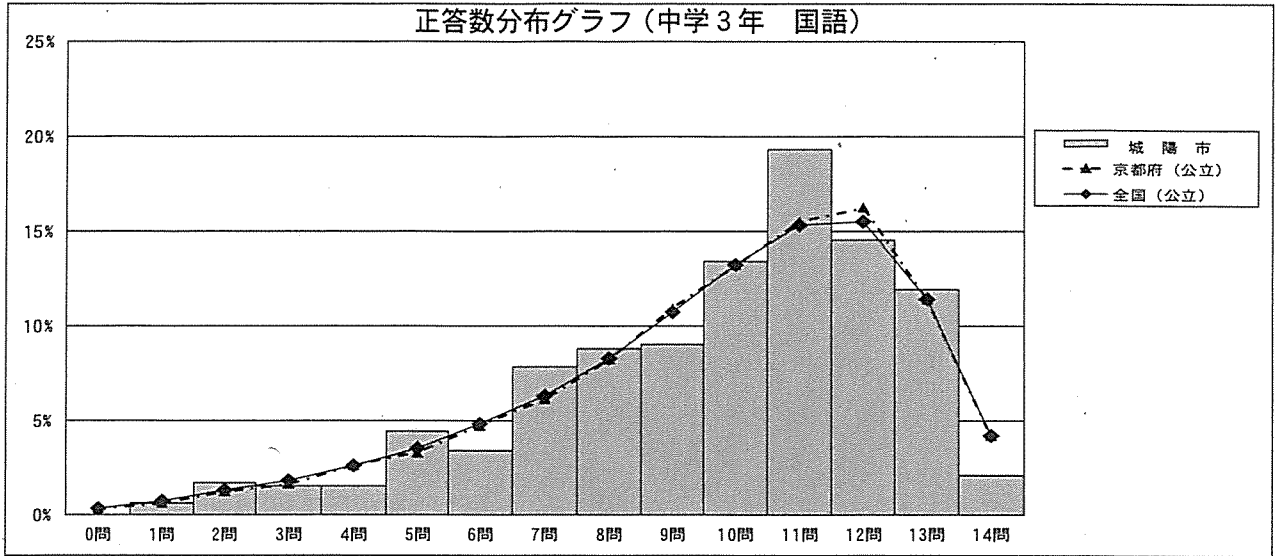
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	76.5	69.9	69.3	69
*	73.5			
*	69.5			
*	67.7			
*	62.5			



学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	65.7	60.9	63.4	62.3
*	64.9			
*	64			
*	57.6			
*	54.5			



(2) 正答数分布グラフ・経年データ・正答率別推移

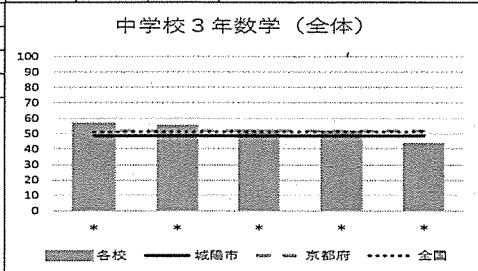


## 8 中学3年（数学）の結果

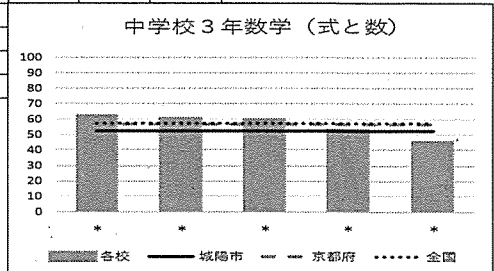
- ・城陽市の平均は、全国平均をやや下回る結果となりました。また、領域については、特に「式と数」「知識・技能」について全国平均との差が見受けられました。
- ・正答率別推移では、平成29年度の小学4年、平成31年度（令和元年度）の小学6年で受検した京都府学力診断テストと比較すると、小学4年から小学6年にかけては、高位層がやや増加し、低位層が減少していましたが、小学6年から今年度の中学3年にかけては、高位層が減少し、低位層が増加しています。
- ・生徒一人一人が、問題解決の方法を数学的に説明したり、総合的・発展的に考察したりするなど、「数学的な見方・考え方を働かせた言語活動の充実」も求められます。

### (1) 結果の状況

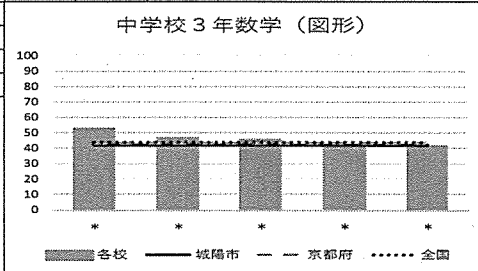
中学校3年数学（全体）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	53	49	52	51.4
*	52			
*	49			
*	48			
*	40			



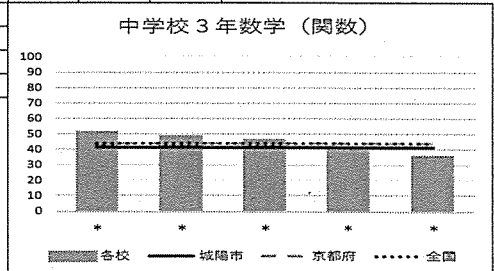
中学校3年数学（式と数）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	59.5	52.7	56.6	57.4
*	57.5			
*	56.9			
*	49.9			
*	42.1			



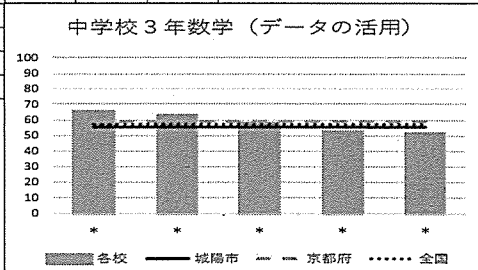
中学校3年数学（図形）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	49.5	42	43.4	43.6
*	43.3			
*	42.3			
*	38.4			
*	38.3			



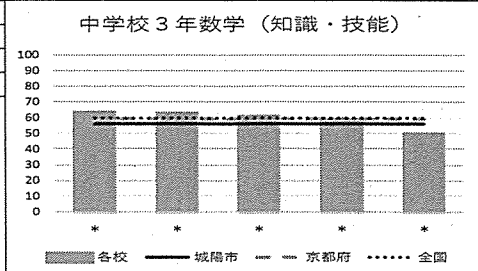
中学校3年数学（関数）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	47.3	41.4	43.8	43.6
*	45.3			
*	42.7			
*	38.1			
*	32			



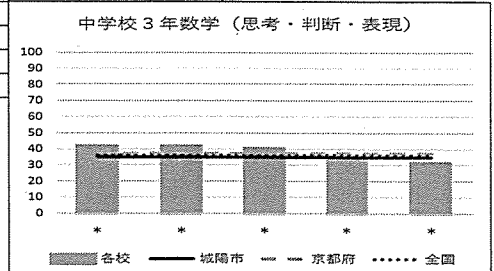
中学校3年数学（データの活用）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	62	55.4	58.9	57.1
*	59.7			
*	54.8			
*	49.4			
*	48			



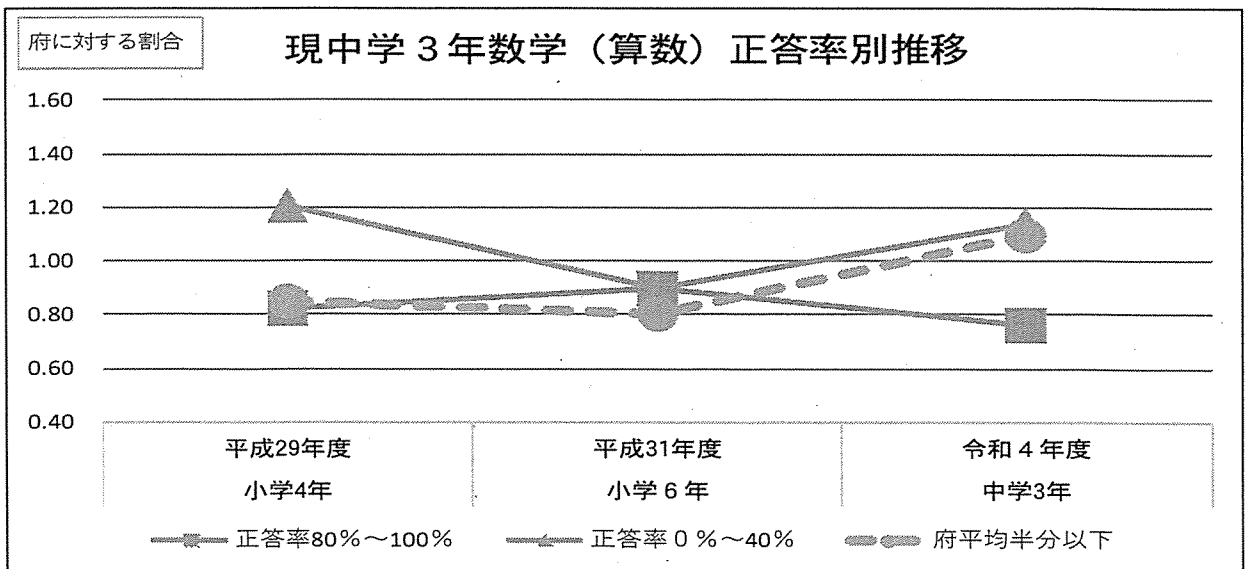
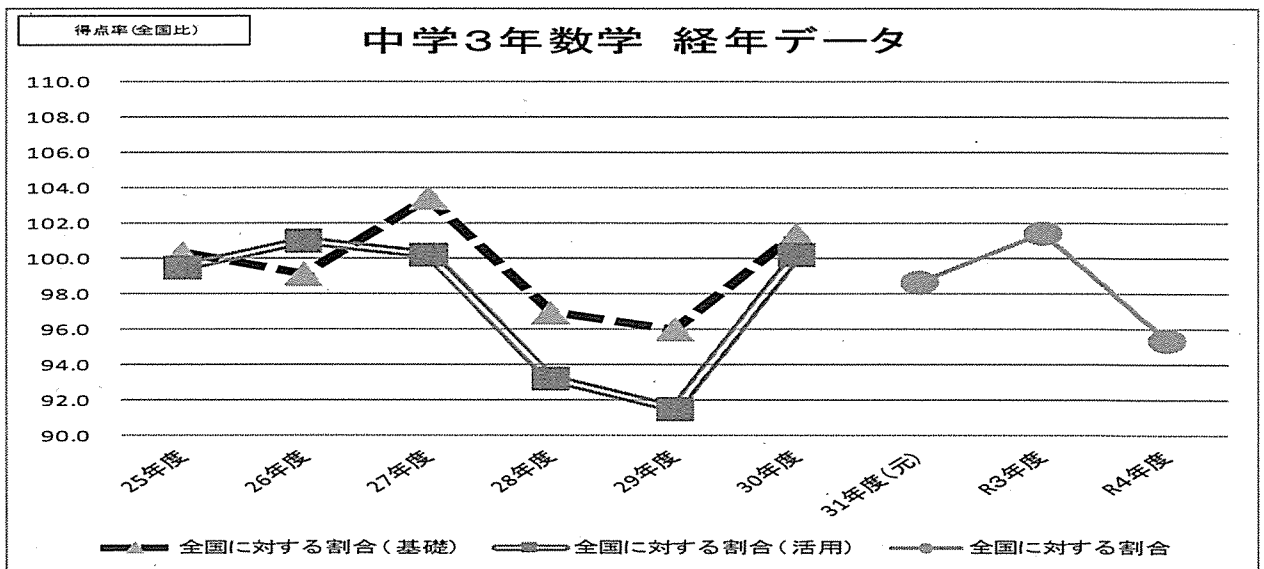
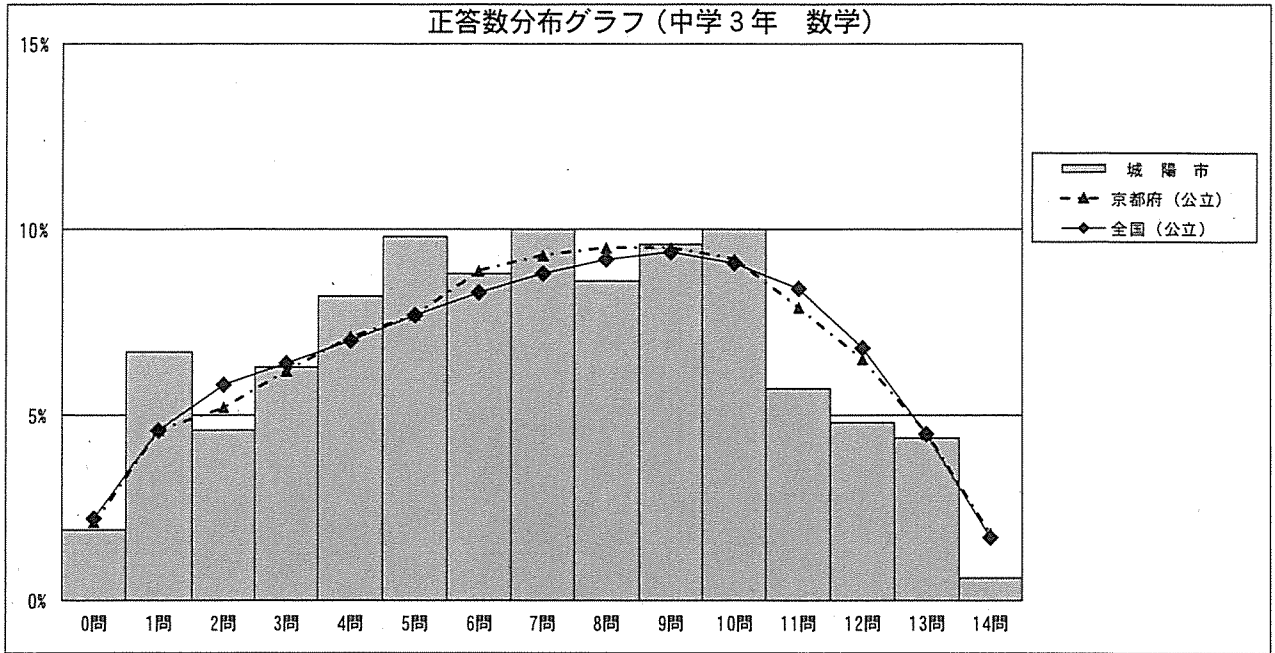
中学校3年数学（知識・技能）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	60.3	56	59.2	59.9
*	60.1			
*	58.1			
*	55.9			
*	46.9			



中学校3年数学（思考・判断・表現）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	38.6	35.1	37.6	36.2
*	38.5			
*	37.4			
*	30.7			
*	28.6			



(2) 正答数分布グラフ・経年データ・正答率別推移

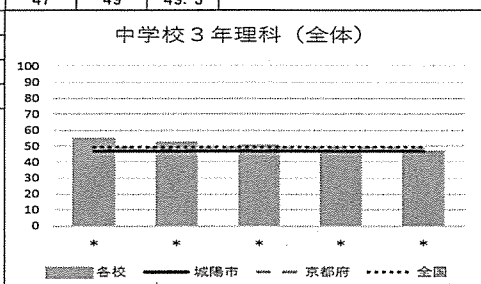


## 9 中学3年（理科）の結果

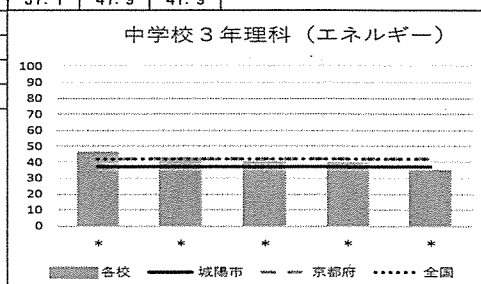
- ・城陽市の平均は、全国平均をやや下回る結果となりました。また、領域については、特に「エネルギー」について全国平均との差が見受けられました。
- ・授業で身に付けた知識と日常生活における経験を関連付け、身近な事象の中に問題を見い出して課題を設定し、科学的に探求する課程を通して、理科を学ぶことの意義や有用性の実感を高めるていくことが求められます。

### (1) 結果の状況

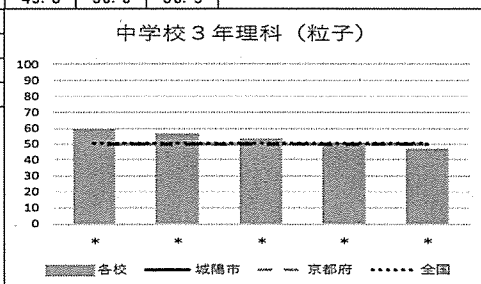
中学校3年理科（全体）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	51	47	49	49.3
*	49			
*	47			
*	44			
*	43			



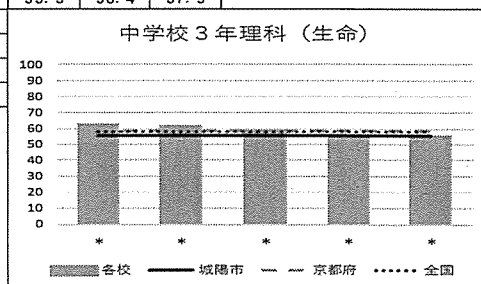
中学校3年理科（エネルギー）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	42.9	37.1	41.9	41.9
*	38.7			
*	36.6			
*	35.8			
*	31.2			



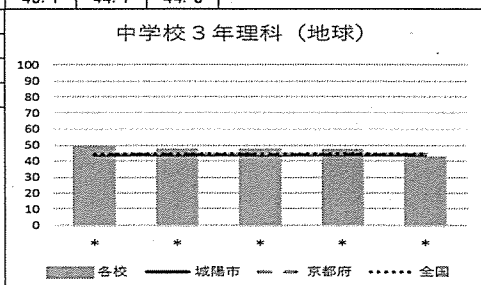
中学校3年理科（粒子）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	55.8	49.8	50.3	50.9
*	52.7			
*	49.5			
*	45.7			
*	43.4			



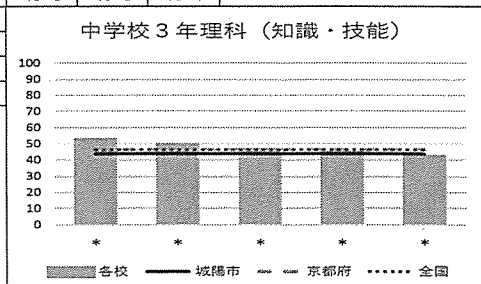
中学校3年理科（生命）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	59.4	55.5	58.4	57.9
*	57.7			
*	55.5			
*	52.5			
*	51.8			



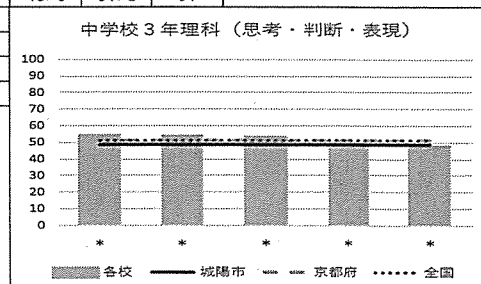
中学校3年理科（地球）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	45.8	43.7	44.7	44.3
*	44			
*	43.9			
*	43.4			
*	38.7			



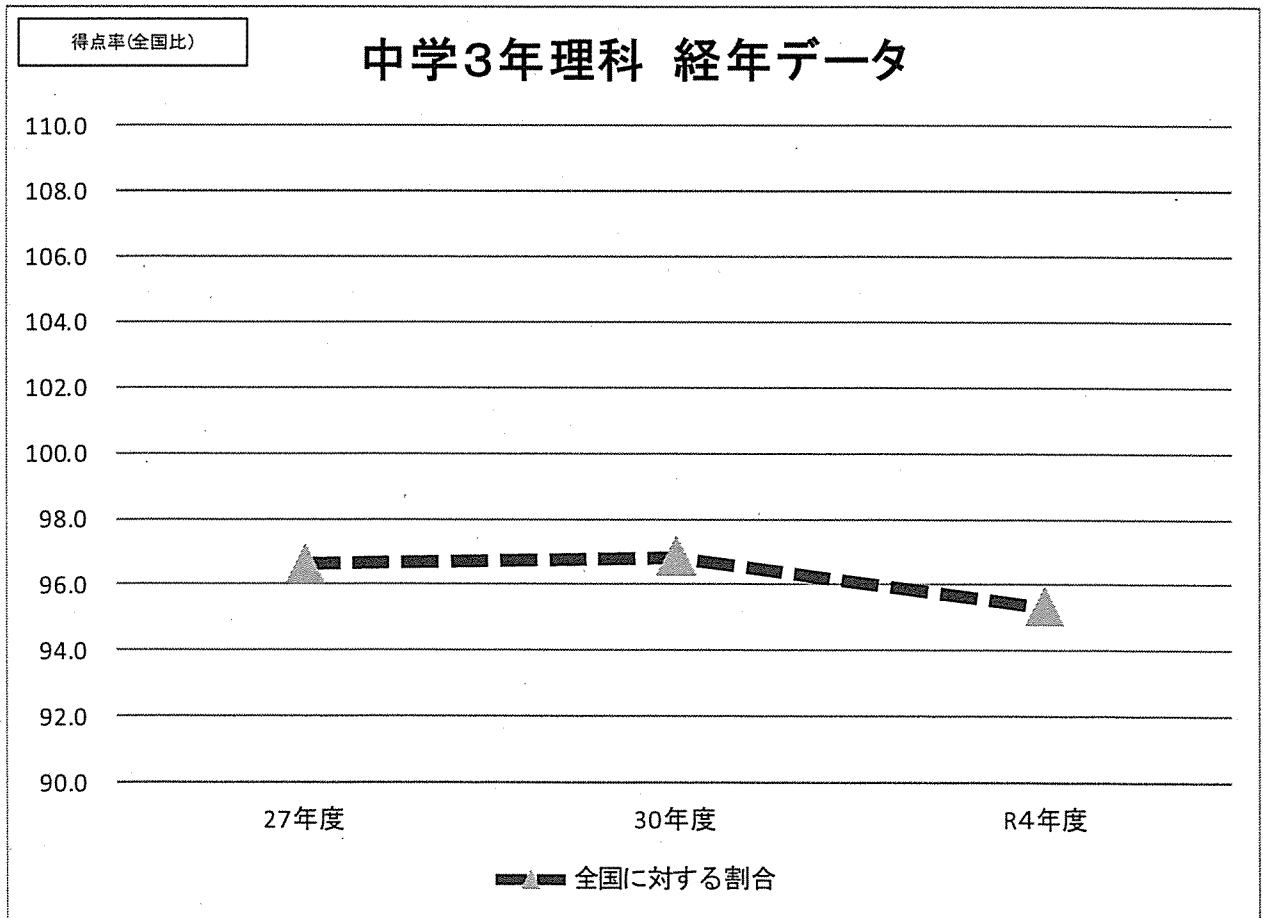
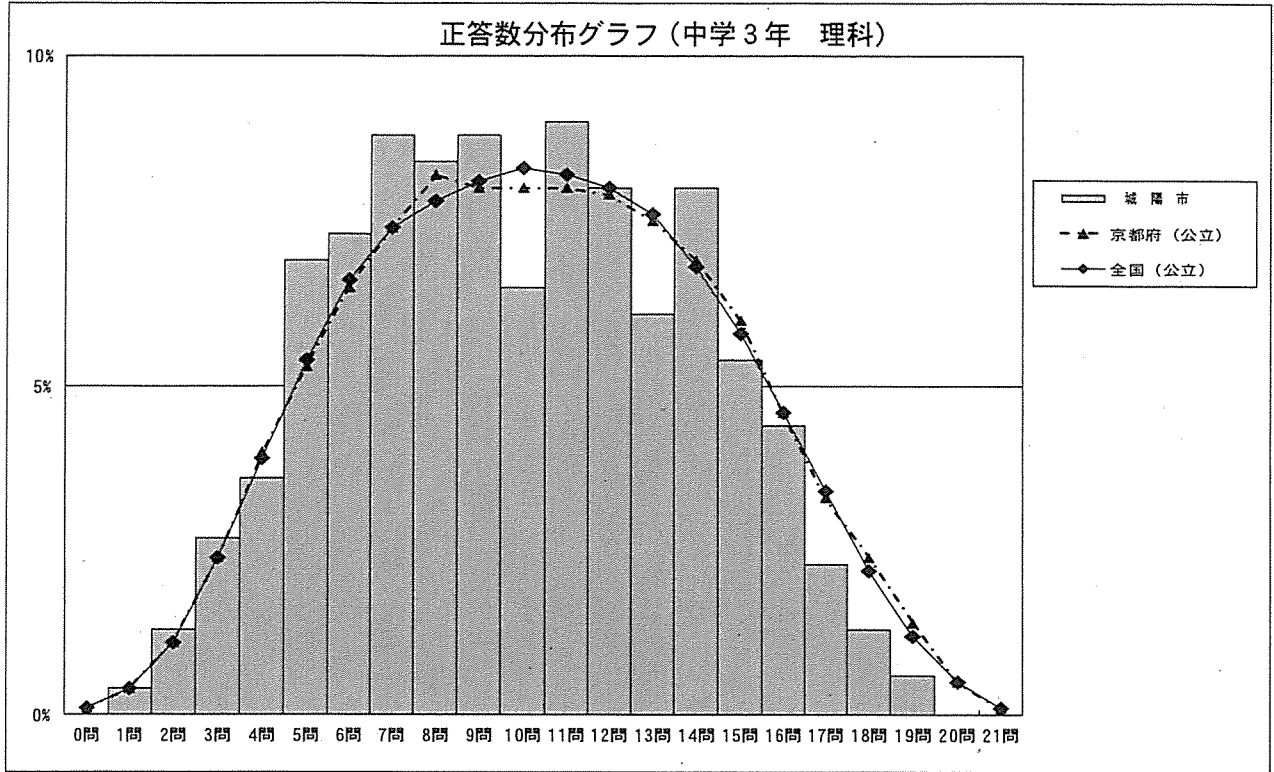
中学校3年理科（知識・技能）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	49.3	43.9	46.2	46.1
*	46.4			
*	43.1			
*	41.6			
*	38.7			



中学校3年理科（思考・判断・表現）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	51.2	48.8	51.2	51
*	50.6			
*	50.1			
*	45.7			
*	44.3			



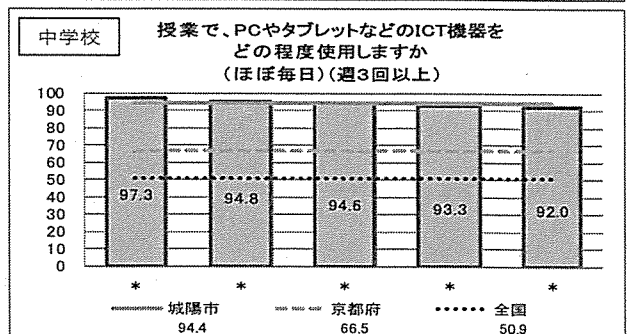
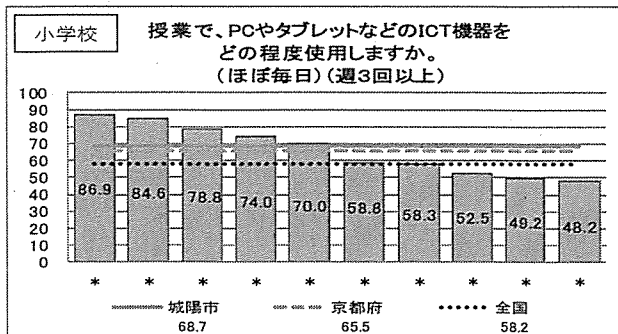
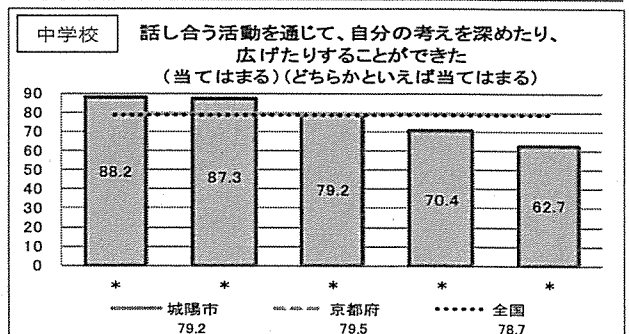
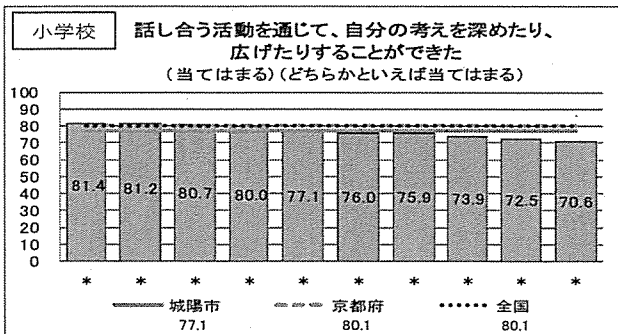
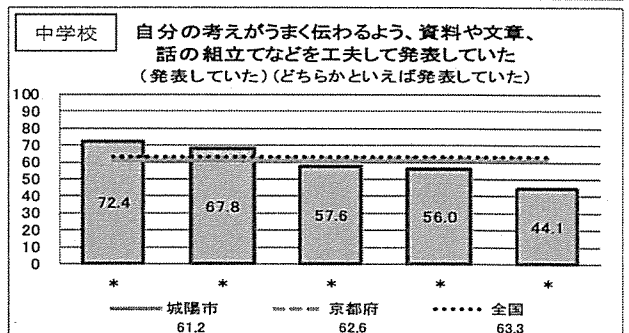
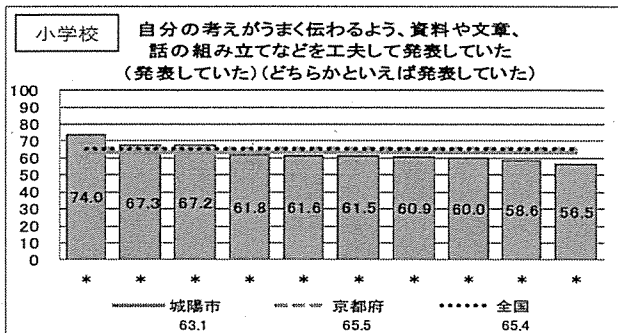
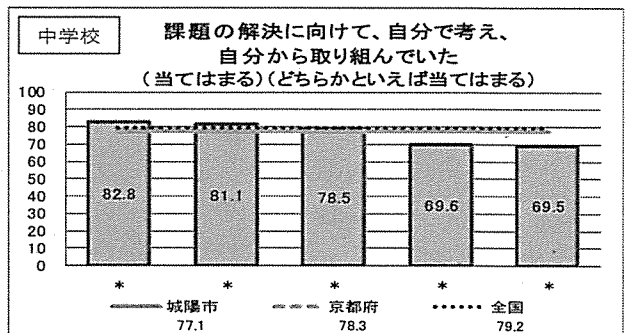
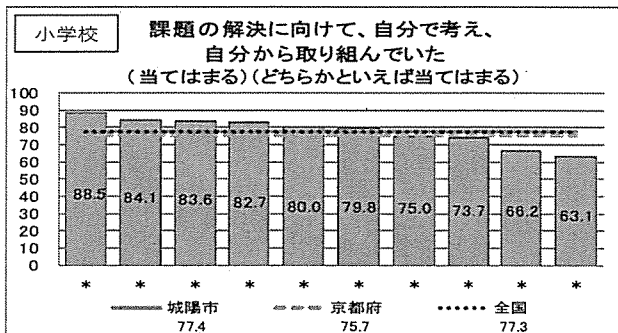
(2) 正答数分布グラフ・経年データ・正答率別推移



10 質問紙の調査結果 (小学6年・中学3年)

(1) 授業について

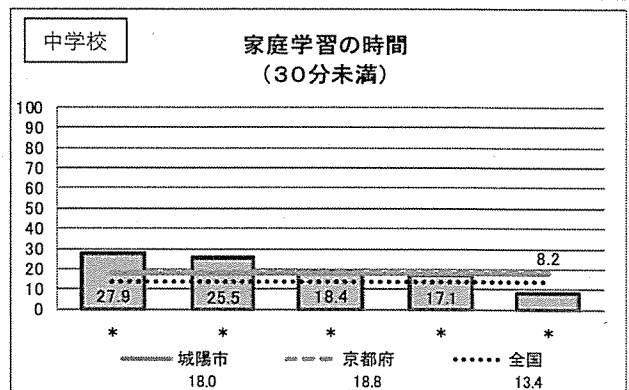
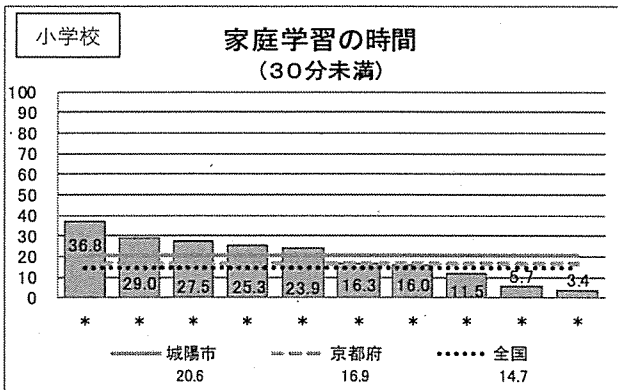
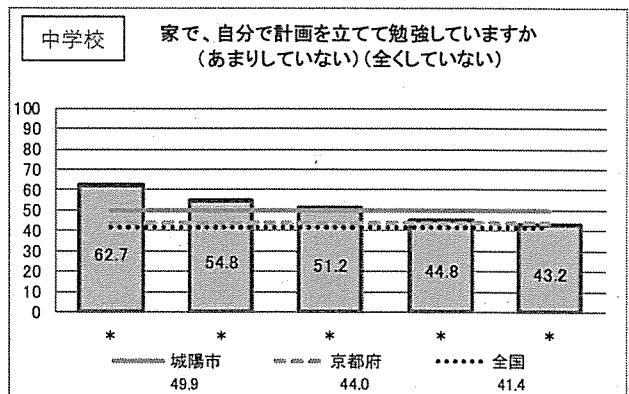
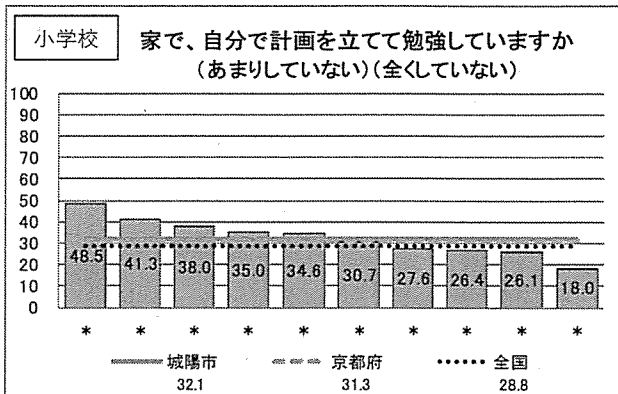
- ・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」の項目では、全国平均と比較すると、小学6年では同程度となっており、中学3年では、やや下回る結果となりました。また、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた」の項目では、小学6年では、下回り、中学3年では同程度の結果となっています。また、「授業でPCやタブレットなどのICT機器をどの程度使用しますか」の項目では、城陽市は使用率が高いことが分かります。特に中学3年では、とても高い割合となっています。
- ・「認知能力」と「非認知能力」を一体的に育み、「振り返り」を充実させることで、子ども達自身が授業の中での学びを実感し、自分で考え、自分から取り組む態度の育成が求められます。





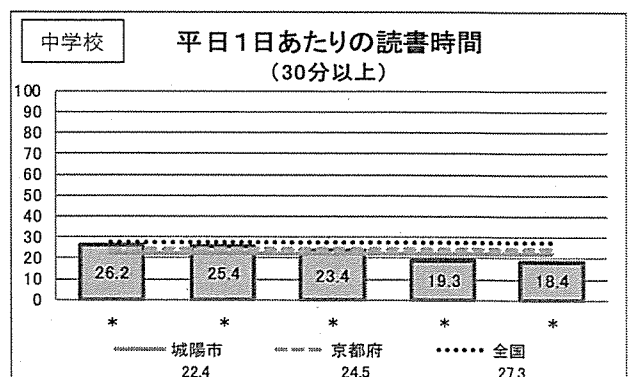
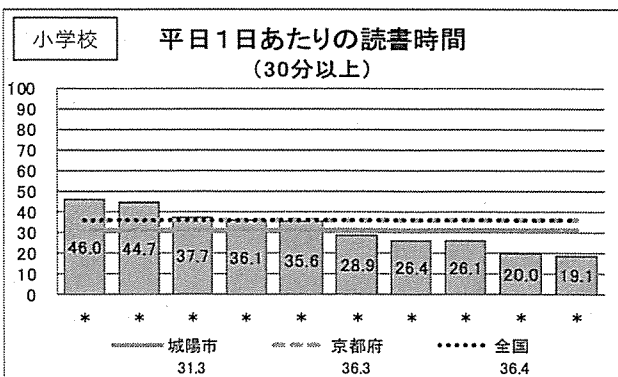
## (2) 家庭学習について

- ・子ども達が家庭でも計画的に学習できるよう、学習習慣を身に付けさせると同時に、学びに向かう力を育成することが求められます。また、各校で作成している「家庭学習の手引き」等を子ども達自身が有効活用できるよう、手立てを講じる必要があります。
- ・平日（月～金曜日）の家庭学習の時間が、「30分未満」または「全くしない」と回答した割合は、城陽市の平均として、小学6年、中学3年ともに全国平均より高い割合となっており、家庭学習の習慣や家庭学習時間の充実が求められます。



## (3) 読書習慣等について

- ・小学6年、中学3年ともに、平日1日あたりの読書時間は、全国平均と比較すると下回る結果となりました。また、小学校では、本に親しませる取組を充実させているところですが、学校間の差が大きいことが課題となります。
- ・読書週間の取組など図書館教育の充実及び学校図書館司書やボランティアの活用を通して、より様々な本に触れさせる機会を計画的に設けることが求められます。





(4) 生活習慣等について

- ・「朝食を毎日食べますか」の問いに対し、小学6年、中学3年ともに城陽市は全国平均と比較するとやや上回る結果となっています。
- ・「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」の問いに対し、城陽市は全国平均と比較すると、小学6年ではやや下回り、中学3年では上回っており、比較的規則正しく生活ができていることが伺えます。
- ・「平日1日あたり、テレビゲームをどれくらいしますか」の問いに対し、城陽市は全国平均と比較すると、小学6年、中校3年ともに、ほぼ同程度の結果となっています。また、「SNSや動画視聴をどれくらいしますか」の問いに対し、小学6年では、ほぼ同程度となっていますが、中学3年では、時間が多くなっていることが伺えます。さらに、小学6年では、学校間の差が大きいことが見受けられます。
- ・家庭学習の取組を進める中で、子ども達自身に基本的な生活習慣の確立について指導するとともに、それぞれの家庭と連携を密に図ることが求められます。

